

12月
定例会

11/28 ~ 12/18

公の施設の指定管理者の指定(市民センター、にぎわい交流館) 教育支援センター小谷小学校跡地に移転



令和6年12月定例会は、21日間の会期で開かれ、市長から提出された「令和6年度鴻巣市一般会計補正予算(第6号)」など18件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・承認・可決しました。

なお、議員提出議案として1議案が上程されましたが、否決となりました。

補正予算

特定クラウドサービス 接続環境構築業務委託

問 構築する理由は。

答 現在使用しているマイクロソフト社のオフィス製品の延長サポートが令和7年10月14日で期限切れとなります。また、マイクロソフト社のオフィス製品の購入方法についてサブスクリプション形式が主流になってきていることから、インターネット上のクラウドサービスでオフィス製品のライセンス認証を行ったり、ウェブ会議システム等のクラウドサービスのみで提供されているソフトウェアを利用するため、L G W A N接続系端末から特定クラウドサービスであるマイクロソフト365への接続環境を構築する必要があります。



問 本業務委託によるメリットは。

答 L G W A N接続系端末で使用しているバージョンの異なる5種類のソフトウェアが統一されます。人事異動などにより使用するパソコンが替わる場合でも、操作感等が変わらずスムーズに使用することができます。

また、ソフトウェアの管理についても、1つのバージョン管理となるのがメリットと考えます。

補正予算

財政調整基金繰入金

問 基金残高は。

答 約30億4600万円を見込んでいます。

問 適正規模の積立額となっているのか。

答 財政調整基金とは、地方公共団体における計画的な財政運営や年度間の財政調整を行うもので、地方公共団体が通常水準の行政サービスを提供する上で必要な一般財源の目安となる標準財政規模の5%から10%の範囲が適正規模と言われており、現段階では適正規模であると考えています。



条例の一部改正

吹上保健センター閉所

問 閉所に伴い、吹上地域の市民は鴻巣保健センターに来所しなければならぬのか。

答 吹上地域で実施していた事業等については、吹上地域の公共施設や商業施設等で引き続き実施する予定です。また、母子健

康手帳の交付や妊娠に関する相談については、子育て支援課等で行います。来庁が困難な場合には相談の上、家庭訪問等を行い、妊娠期から出産、子育て期における継続的なサポート、伴走型相談支援を行いたいと考えています。



条例の一部改正

教育支援センター 小谷小学校跡地に移転

問 現在の適応指導教室の利用人数上限についての考えは。

答 現在、平均利用人数は4人から5人程度ですが、12人から13人程度になると手狭になると考えています。

問 現在の教育支援センターで適応指導教室を2つに分けて実施する考えは。

答 条例改正において目指すことは、午後も実施することです。午前中の開催のみでは、起立性調節障害の児童生徒にとって利用が難しいことから、午後も開催し事業を拡大することです。



様々な児童生徒が利用できると思っています。

補正予算

放課後児童クラブの ICT化推進事業

問 放課後児童健全育成事業費補助金を活用したシステムを導入することによる、児童及び保護者へのメリットは。

答 システムを導入する放課後児童クラブでは、児童の入退室管理だけでなく、保護者からの急な欠席連絡等がシステムで行えるようになります。システム等の導入により、放課後児童クラブ職員の事務負担の軽減やオンライン研修により、充実した保育が図られると考えています。

補正予算

道路反射鏡設置 及び修繕工事

問 今年度のカーブミラーの未修繕件数及び新規設置数は。

答 カーブミラーの修繕は、10月末現在で13件の未修繕箇所があり、新規設置については28件の要望のうち19件設置済みです。残りの9件については、今年度の予算の範囲で施工予定です。

問 カーブミラーの維持管理体制は。あれば修繕を行います。その

ほか、カーブミラーは市内に約3600基あるため、数年に分けて業務委託により点検を実施しています。今年度は、職員によるカーブミラーの点検も行い、安全等を確保しています。



補正 道路維持・補修業務委託

市民等からの要望もあり、維持補修箇所が増加していると思いが、今後も予算を増額することを考えているのか。

市民等からの要望も増加していますが、それ以外に人件費や燃料費等の高騰もあることから金額を増額しています。また、これまで除草などは、地先管理をお願いしていましたが、高齢化により地先管理が困難になっていることから、今後の課題として捉えています。

補正 市営住宅(6団地) 水道水質管理業務委託

市営住宅はかなりの年数が経過しているが、これまで点検により問題等は見つかったのか。委託業者が毎月1回、屋上にある高架水槽と地上にある受水槽を点検し、年1回水槽の水を全て

抜いて清掃を行っていますが、これまでに水質に影響がある不具合は発生していません。軽微なものでは、パッキンの劣化や防虫網が外れていることがありましたが、速やかに対応しています。

その他 市市民センターの指定管理者を指定

主な選定理由は、

少子高齢化という環境の中で、地域コミュニティの活性化を図るため、自治会支援事業・親子交流フェス・国際交流フェスとの連携など具体的な提案を評価しました。

市民サービスへの影響は、

指定管理者制度導入後は、市民課取次ぎ業務の住民票の写し等の証明書発行はせず、マルチコピー機で対応します。開館している土日や夜間でも使用することができ、また新たに税証明書も取得可能となります。一方、防災ラジオの取次ぎやデマンド交通の申込等、現金・個人情報を取り扱う業務は令和7年4月以降、実施しない予定です。



改正 鴻巣市国民健康保険税 条例の一部を改正

令和9年の準統一に向け段階的な引上げだが、今後の見通しは。所得割部分は市町村標準保険税率に達していますが、均等割分の特に医療費分についてはまだ6000円程度差異があり、今後は、後期高齢者支援金分の負担増も見込まれます。

その他 にぎわい交流館の指定管理者を指定

主な選定理由は、

地域食材の活用、にぎわいを創出する自主事業の企画内容が優れ、また、従来より価格を抑えたメニューや観光案内所の設置などの提案を評価しました。

補正 地域防犯体制支援事業

間 間バイト等の被害が相次ぎ、市民にも不安が広がっている。今回の補正額は適切か。

11月に予算上限に達した住宅等防犯対策補助金の再開の問合せが多数寄せられています。また、本市の侵入窃盗が減少傾向で一定の効果があるため、過去の実績ベースに約25%上乗せした補正額は適切な額と考えています。

行政委員に対する質問

誰もが投票しやすい環境整備は

公明党 橋本 稔

「このす花火大会」への協賛について

日本共産党 諏訪 三津枝

投票支援カードやコミュニケーションボード等を導入したが、一部で投票できずに帰宅したとの事例を聞いている。十分配慮ができたのか、投票支援カード等の活用状況を伺う。

事務従事者には十分に配慮するよう指導しています。コミュニケーションボードは目につきやすいところに配置し、支援の必要な人には投票支援カードを渡すよう指示して、環境の整備に取り組んでいます。

衆議院選挙において比例区と最高裁判所裁判官国民審査の投票紙を入れるときに間違えそうになる。投票箱等に改善はないか伺う。

投票用紙の入れ間違えを防ぐため、投票用紙と同じ色の色紙を側面及び上面に貼付するなど対策を講じていますが、今後より分かりやすい表示となるよう改善していきます。

2024年10月5日の第21回このす花火大会で、鴻巣市議会議員が事業主となる事業所の名称で協賛の実態があった。

事業所の名での協賛であっても公職選挙法第199条の3で定める「氏名を類推される」に当たると思われる。鴻巣市選挙管理委員会の見解を伺う。

「氏名が類推されるような方法」とは、候補者等の氏名が直接表示されていない場合であっても、法人名等を表示することで、その氏名が類推されるような記載などです。

例えば「鴻巣太郎」が社長の「鴻巣商店」が社名を表示して寄附をした場合がこれに当たると解されます。

当該行為が公職選挙法に違反しているか否かについては、各々の事実に応じて、取締機関や司法において判断されるものです。